

第【2】学年教科【美術】

1 学習目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 使用教科書・教材

日本文教出版

3 学習内容および学習時期の目安

	単元名	学習内容（教科書項目名）
1 学期（4～7月）	空間をデザイン 鑑賞	一点透視図法 鑑賞
2 学期（8～12月）	木彫スタンド 鑑賞	木彫 鑑賞
3 学期（1～3月）	CMをつくる なりきりアート 鑑賞	撮影・編集 模写 鑑賞

4 評価規準およびその方法

	評価規準	評価項目・方法
知識・技能	構図の基本を理解している。 消失点を使った遠近法で描くことができる。 彫刻刀の特徴を理解し、正しく使うことができる。 彫り方を理解し、彫刻刀を使い分けることができる。 構図や言葉、音がもたらす効果を理解している。	作品 テスト ワークシート
思考・判断・表現	空間の使い方を考え、家具などを配置することができる。 色の組み合わせや効果を使って配色することができる。 構図にあった彫りの種類を選択することができる。 構図や言葉、音を表現に合わせて使い分けている。 作品の良い点や改善が必要な点を感じ取り、的確に表現できる。 制作の手順を考えながら見通しをもって制作ができる。	作品 テスト ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	遠近法を使った家具などを積極的に取り入れて作品を制作することができる。 彫刻刀を使って様々な彫り方を積極的に取り入れて作品を制作することができる。 自分の想いや構想を表現するために様々な技法や表現方法を用いることができる。 制作に集中して取り組むことができる。 作家や作品の良いところを見つけることができる。	作品 テスト ワークシート

